



多様な人材が活躍できる 職場環境の充実について

池森 のり子 議員



質問 この5年間の職員定数と実員数の推移及び人材確保に向けた取組について伺います。

答弁 職員数は定数を下回る状況が続いていますが、職員定数の充足に向け、採用試験方法の変更や受験要件の緩和を進めています。

質問 民間企業では、退職

者を再び雇用する「アルムナイ採用」を導入している企業があり、また、キャリアリターン制度を採用している自治体がありますが、本市の制度を伺います。

答弁 本市では令和7年度から、退職した職員を再び正規職員として採用する、キャリアリターン制度を受

け、これまでに3人を採用しています。

質問 本市に雇用されている障がい者の割合はどの程度か。また、障がい者採用は通常採用とどのような違いがあるのか伺います。

答弁 本市では、現在20人の障がい者を雇用しており、障がい者雇用率は法定雇用率を上回る2・9%です。採用に当たっては、受験申込みの段階から相談を受け、試験会場の設定や面接試験において必要な配慮

を行いながら、よりきめ細かな対応をしています。

意見 障がいのある方の能力開発やキャリア形成に取り組みながら、職員がより成長し、活躍できる職場づくりを進めてください。

質問 採用試験合格後の内定辞退を防ぎ、本市が選ばれる市役所になるための取組を伺います。

答弁 内定辞退を減らす取組として、採用説明会や内定者向け事前研修会、個別面談に加え、庁舎・議場・

周辺施設の見学を取り入れ、入庁後のイメージ形成を図っています。引き続き、受験者に選ばれる取組を進めていきます。

意見 市民サービスを支えるのは「人」です。本市が選ばれる自治体であり続けるため、多様な人材が能力を発揮できる職場環境づくりと、障がいのある方を含め、誰もが活躍できる組織づくりを期待します。



組織機構について



飯島 一志 議員



質問 財産有効活用課についての質問です。公共施設マネジメントの具体策について伺います。

答弁 公共施設等マネジメント推進庁内委員会における総合評価結果を受け、個別施設計画と実行計画との整合や確認を行いながら、PDCAサイクルを活用した進

捗管理を行っています。

質問 複合施設の可能性と形態について伺います。

答弁 市民センター周辺に点在する公共施設を一つにまとめ、さらに市の機能を追加することで、利用者の利便性向上とまちなかの活性化に寄与する取組として検討していきたいと考えて

います。

質問 次に、地域魅力創造課についての質問です。地域の魅力をどのようにふるさと納税につなげるのか伺います。

答弁 話題性のある返礼品の開拓にとどまらず、リピーターを増加させるための仕組みづくりを推進し、寄附をされた方が本市のまちづくりに参加しているという実感を持ち、継続的な応援につなげられるよう取り組んでいきます。

質問 移住定住を地域経済の活性化につなげる取組について伺います。

答弁 移住された方が地域の担い手として経済活動に加わり、既存の地域資源と結びつくことで、地域全体の経済循環を高めることができる仕組みづくりについても取り組んでいきたいと考えています。

質問 本市の将来像について伺います。

答弁 市民の皆さんが、日々の生活の中で、地域の

魅力や価値を再確認していただきながら、それを自ら語り、市外の方へ伝えていくような、市民が主役になってくれるまちづくりを推進していきたいと思っています。今後、館林市シティプロモーション推進方針に基づきながら、館林市ならではの魅力の深化と発信、館林市の確かな価値を大切にしながら、総合計画にも掲げる将来都市像の実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。